

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

晴れの国・岡山の家

グループの名称

HOTネットI・E(家)の会

直近採択グループ番号

06-0262-0614

(グループ代表者)

代表者名

森下 雅人

代表者印

代表者所属先

株式会社北屋建設

代表者所在地

岡山県岡山市中区平井7丁目18番15-11号

代表者電話番号

086-276-3735

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社マルティックス山陽

事務局担当者名

井上 隆志

印

事務局郵便番号

703-8261

事務局所在地

岡山県岡山市中区海吉1840-5

事務局電話番号

086-277-7165

事務局FAX

086-277-7790

事務局担当者E-mail

inoue.t@maltics.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		42	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		12	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
申請が確実な住宅から配分。 申請する戸数が配分より多い場合は抽選とする。									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	15	戸	交付申請戸数	13	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	12	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	7	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 晴れの国・岡山の家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) HOTネットI・E(家)の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0262-0614	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	森林資源が豊富で、良質な岡山県産材を土台・柱に使用し、梁・桁は岡山県産材もしくは合法木材を使用する。何れも乾燥材とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	軟弱な地盤が多い特性から、全棟地盤調査を行い検査結果により地盤改良を行う。一次消費エネルギー削減を目的に太陽光パネのル搭載を考慮した構造設計とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	日照時間が長いため日射、通風シミュレーションを取入れ、自然風・庇・ブラインド・カーテン等を有効活用した住宅設計とする。伝統的な町屋、民家の良いところを取入れたデザインを目指す。	○
④①～③の背景	岡山の気候は、雨が少なく温暖である。日照時間も長く、降水量1mm未満の日は277日/年間と全国一。晴れの国岡山と言われる。岡山県産材は、美作地域を主体にスギ、ヒノキの全国でも有効の産地であり、製材・乾燥等の技術が確立されており、反りや曲りが少なく、加工が容易で意匠性に優れていて民間、公共木造建築に広く利用されている。岡山県には倉敷、高梁、足守、井原、勝山等に町並み保存地区が数多くある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ホームページの充実を図り信頼性の向上と消費者へのPR活動を行う。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通し柱は4寸以上。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材及び設備機器は標準仕様を設定し統一を図っている。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材及び設備機器は標準仕様を設定し推奨しています。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当会の賛助会員(メーカー、商社)の推奨商品の活用を行いコストダウンに努める。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅履歴管理事務作業の合理化のため「あんしんいえるて」(住宅あんしん保証: 第三者住宅管理システム)を利用する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年1回、当会の役員7名(施工、流通、プレカット)と事務局2名。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 制度・施策情報収集に努め上記検討委員会に進言、提案を行う。事務局が中心となり申請業務(交付、実績報告)をミスなく行うためサポートする。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟、スウェーデン式サウンディング試験の地盤調査を実施し、その結果に応じて地盤改良工事を行う。施工基準は「住宅瑕疵保険の設計施工基準」とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査、地盤改良工事報告書、現場写真の事務局でのチェック。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に解りやすくするために表示は一式ではなく、材料、数量、単価等を明記する。主要構造材の木拾い明細書を作成する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回、グループ構成員の技術や商品知識を向上させるため、定期的な研修会、報告会を実施する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後グループで検討予定	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後グループで検討予定	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 加入状況を事務局にて確認。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事業者毎に安全協議会を組織し、安全パトロール・安全講習等を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 晴れの国・岡山の家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) HOTネット・E(家)の会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0262-0614		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報管理「あんしんいえかるて」(住宅あんしん)に設計図書等を蓄積する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報管理「あんしんいえかるて」(住宅あんしん)を活用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 申込書もしくは住宅履歴情報預書	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴サービス機関からの指定点検時期告知により定期点検を行う。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 24時間365日対応の「暮らしのサポートサービス」(全国住宅産業地域活性協議会のコンテンツ)を利用する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検、補修完了報告書を事務局にて確認。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国土交通省住宅市場整備推進等事業において採択された、全国住宅産業地域活性協議会が発行した「維持管理の考え方とガイドライン」を基に勉強会の開催。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局に住宅相談窓口を設置し消費者に対応。又、住まい給付金の申請窓口を行っている。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回、当会の役員7名(施工、流通、プレカット)と事務局2名。	○	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理の考え方とガイドライン」に準じた点検、検査を標準手法とする。	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者保護の為に「完成保証制度」(住宅あんしん保証)を付保できるように体制整備を図る。維持管理、メンテナンス対応の為に、事務局に住宅相談窓口を設置。	○
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証が講師となり過去の瑕疵事例の紹介と防止策の研修会開催。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
	エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型、高度省エネ型の未経験者を対象にサポートチーム(経験工務店、設計事務所)を結成し、受注契約・施工・設計の研修会を実施。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者の信頼性確保と工事進捗管理のため、施工写真管理システム「Do! Photo」(住活協)を活用。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「Do! Photo」活用時、申込書で確認。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者にアンケート及び聞き取り調査を行い需給予測を行うとともに対策を協議する。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年の建築物省エネ法義務化に向け外皮計算、一次エネルギー消費計算の研修会実施。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が計画立案、集計等を行い各構成員に情報発信。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 95 今年度の参加目標人数 120	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 岡山県木造生産体強化推進協議会(事務局:岡山県建築士会)と連携し、日程の連絡と受講の斡旋。		○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 防振、免震商品の採用検討。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 岡山県はCLTの国内発祥生産地であり普及活用促進を図る為、工場見学、研修に取組む。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 晴れの国・岡山の家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) HOTネットI・E(家)の会	(結成年) 2012 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0262-0614													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の「土台、柱」は岡山県産材を使用し「梁、桁」は岡山県産材もしくは合法木材を使用する。いずれも乾燥材とする。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>(1) 以下に該当する認証制度に基づく証明書の添付。PEFC森林認証制度: 森林経営の持続性や環境保全の配慮などについて、民間の第三者機関により認証された森林から産出される木材・木材製品。(2) 原木の産出国が分かる書類のひな型の添付。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて定期的に原木供給、製材、集成材事業者にヒアリングを行い情報提供する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて定期的に原木供給、製材、集成材事業者にヒアリングを行い共有化を図る。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工事業者アンケート及び聞き取り調査を行い需用を把握し、木材関係者にフィードバック。需給バランス調整を行う。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 350 枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 250坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 100 枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 100 枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 白壁、ベンガラ、焼杉等の伝統的な素材の活用を図る。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外部焼板、漆喰、深い庇や軒等伝統的建築物の見学と勉強会を行う。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 消費者に対し続き間、広縁、土間等の住まい方提案を行う。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周りの自然景観、景観条例などを意識して違和感のないデザイン、色調の設計検討を行う。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 消費者に対し現場見学会等で和の住まいの魅力をPRする。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	各種イベント等の参加者に対する来場記念品、粗品等を出来る限り被災地特産品にする。												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	各種イベント等の参加者に対する来場記念品、粗品等を出来る限り被災地特産品にする。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 晴れの国・岡山の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岡山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> HOTネットI・E(家)の会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0262-0614	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①「BELS工務店」への登録を促進する。 ②ゼロ・エネルギー住宅については平成28年省エネルギー基準と同等以上とし、出来る限りランクアップ外皮性能にチャレンジする。 ③ゼロ・エネルギー住宅については建築物省エネルギー性能表示制度「住宅版BELS」の評価機関への申請、評価を受けることを義務化する。 ④ゼロ・エネルギー住宅の地域区分は5地域(岡山県中部)、6地域(岡山県南部)とする ⑤ゼロ・エネルギー住宅はHEMS設置を義務化としエネルギーの見える化を図り、消費者の省エネ、節エネを促す。 ⑥構成員と協議の上、事務局にて「標準パックプラン」(設備機器、断熱材、サッシ・硝子)を作成。ランニングコスト、イニシャルコスト等、消費者に解りやすくすると共に、構成員が簡単に利用できるようにする。 ⑦当グループの施工、設計構成員は未経験者が多い、この為、実績のある設計者を構成員に加え「設計サポートセンター」として各種計算、設計等の指導、支援と研修会等を通じ普及促進活動を行う。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。